

見本

令和 9 年 度

編 入 学 者 募 集 要 項



出願期間	検査日	合格発表
令和 8 年 10 月 27 日 (火) ～ 10 月 29 日 (木) ※必着	令和 8 年 11 月 14 日 (土)	令和 8 年 11 月 20 日 (金)



独立行政法人国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校

National Institute of Technology(KOSEN),Oyama College

目 次

令和9年度小山工業高等専門学校編入学者募集要項

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）（編入学）	1
卒業の認定に関する方針（ディプロマ・ポリシー）	3
教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）	4
1. 編入学を実施する学科・募集人員及び編入学年次	6
2. 出願資格	6
3. 志望学科	6
4. 出願期間	7
5. 出願手続	7
6. 選抜方法	8
7. 合格発表	9
8. 入学意思確認書の提出	9
9. 入学時の諸経費	9
10. 注意事項	10
11. 個人情報の取扱いについて	10
12. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して	10

出願書類

編入学願書・編入学志願者写真票・受験票

編入学検定料「振込受付証明書」・「振込金受取書」・「振込依頼書」

入学検定料の納入方法について

出願書類チェックシート

入学者の受入れに関する方針(アドミッション・ポリシー) (編入学)

I. 編入学者選抜の基本方針

本校のアドミッションポリシー(編入学)に基づき、基礎学力を有し、モノづくりに関心が高い者を選抜します。

選抜においては、本校の編入学年次からの教育を受けるのに必要な素養と基礎学力を有した者を選抜するため、調査書の全教科の評定を評価し、学力検査(口頭試問含む)を行うとともに、目的意識、意欲、適性などに関して面接を行い、その結果を総合的に評価します。

II. 求める学生像

小山高专では次のようなアドミッションポリシー(入学者受入方針)を定めています。

1. 自然科学及び工業技術に対する興味・関心が高く、その基礎学力を有し、自ら学ぶ意欲がある人
2. モノづくりに対する関心が高く、自らのアイデアで、主体的に取り組める人
3. 日本語及び英語の基礎学力を有し、自分の考えを伝えることのできる人

機械工学科：機械技術を活かしたモノづくりを学ぶ

機械工学科では、材料、振動、熱、流れに関する力学と、製図、電気・電子、コンピュータ、計測などを学び、エンジンやロボットなどの機械と、それらの機械を含むさまざまなシステムの設計・製造・制御の基礎を勉強します。本学科では、つぎのような人の編入学を期待します。

1. 数学、物理など自然科学の基礎学力を有し、自発的に学ぼうとする強い意欲のある人
2. 機械工学を含む工業技術全般に興味があり、自分のアイデアを活かしたモノづくりに取り組んでみたい人
3. 機械や技術に関して自分の考えや意見を表現できる能力を有し、国際的な事柄にも興味がある人

電気電子創造工学科：電気電子技術を活かしたモノづくりを学ぶ

電気電子創造工学科では、電気エネルギー、電気電子回路、情報通信、電子材料、コンピュータやプログラムなどの基礎を学び、それらを活かした新エネルギー技術、最新ロボット技術やシステム作りとその応用を勉強します。本学科では、つぎのような人の編入学を期待します。

1. 数学、電気・電子、情報技術が好きで、向学心旺盛な人
2. ハードウェアからソフトウェアまで幅広く興味があり、自分で考えることのできる人、モノを作ることが好きな人、アイデアをたくさん出せる人
3. 電気・電子、制御、情報分野に関して自分の考えや意見を表現できる能力を有し、国際的な事柄にも興味がある人

物質工学科：化学や生物化学、材料に関する科学・技術を活かしたモノづくりを学ぶ

物質工学科では、化学及び生物化学の専門的基礎と、新しい材料、バイオ関連物質、地球環境の持続等に関する工学的応用を学びます。本学科では、つぎのような人の編入学を期待します。

1. 化学や生物化学、材料に関する科学に興味を持ち、その基礎知識のある人
2. 実験等に自主的に取り組むことができ、観察力のある人
3. 化学に関して自分の考えを伝える能力を持ち、国際的な事柄にも興味がある人

建築学科：建築技術の専門基礎を学ぶ

建築学科では、モノづくりの応用として、住居や都市、安全で経済的な構造、快適な居住環境、建物の歴史などを学びます。本学科では、つぎのような人の編入学を期待します。

1. 自然科学などの基礎学力を有し、工業技術や美術・意匠にも意欲がある人
2. モノづくりへの関心が高く、自らの考えによる建物の設計や安全な建物づくりに取り組みたい人
3. 建築に関して自分の考えや意見を表現できる能力を有し、国際的な事柄にも興味がある人

卒業の認定に関する方針 (ディプロマ・ポリシー)

【準学士課程】

育成する人財像

教育理念「技術者である前に人間であれ」に基づき、豊かな人間性を有し、技術力と創意工夫によって社会の発展に貢献する「今を見つめ未来を創る技術者」の育成を目指す。

卒業認定の方針

小山工業高等専門学校は、次に掲げる能力を身に付け、小山工業高等専門学校学則で定める卒業認定の要件を満たした学生に対して卒業を認める。

1. 実践的技術者に必要な工学、技術およびリベラルアーツに関する基盤的基礎知識について説明することができ、論理的に結論を導くことができる。
2. 応用的な事例や課題の解決に基礎知識を用いることができ、専門分野において分析的に考察し取り組むことができる。
3. 人間・文化・社会を理解し、倫理観・責任感を持ち、自分の意見を論理的に表現できるとともに他者の意見を的確に理解し、周囲の人々と尊重しあいながらコミュニケーションを取ることができる。
4. 生涯にわたって新たな知識・技術を自ら学ぶ自発的学習ができ、知識・技術を新たな社会へつなぐための創造的活動ができる。

【機械工学科、電気電子創造工学科、物質工学科、建築学科】

各学科（機械工学科、電気電子創造工学科、物質工学科、建築学科）は、小山工業高等専門学校のディプロマ・ポリシーに基づき、次に掲げる能力を身に付け、各学科（機械工学科、電気電子創造工学科、物質工学科、建築学科）所定の単位を修得した者に対して卒業を認定する。

1. 各分野（機械工学分野、電気電子工学分野、物質工学分野、建築学分野）において、実践的技術者に必要な工学、技術およびリベラルアーツに関する基盤的基礎知識について説明することができ、論理的に結論を導くことができる。
2. 各分野（機械工学分野、電気電子工学分野、物質工学分野、建築学分野）において、応用的な事例や課題の解決に基礎知識を用いることができ、専門分野において分析的に考察し取り組むことができる。
3. 人間・文化・社会を理解し、倫理観・責任感を持ち、自分の意見を論理的に表現できるとともに他者の意見を的確に理解し、周囲の人々と尊重しあいながらコミュニケーションを取ることができる。
4. 生涯にわたって新たな知識・技術を自ら学ぶ自発的学習ができ、知識・技術を新たな社会へつなぐための創造的活動ができる。

教育課程の編成及び実施に関する方針 (カリキュラム・ポリシー)

【機械工学科、電気電子創造工学科、物質工学科、建築学科】

1. 各分野（機械工学分野、電気電子工学分野、物質工学分野、建築学分野）において、実践的技術者に必要な工学、技術およびリベラルアーツに関する基盤的基礎知識について説明することができ、論理的に結論を導くことができるように
 - (1) 低・中学年次に自然科学系科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
 - (2) 低学年次に工学共通の基礎となる科目を設け、実験・実習や演習を主とした学修方法により展開する。
 - (3) 低・中学年次を中心に各分野（機械工学分野、電気電子工学分野、物質工学分野、建築学分野）の専門基礎科目を設け、講義や実習を主とした学修方法により展開する。
 - (4) 全学年を通して、リベラルアーツ科目を設け、講義を主とした学修方法により展開する。
2. 各分野（機械工学分野、電気電子工学分野、物質工学分野、建築学分野）において、応用的な事例や課題の解決に基礎知識を用いることができ、専門分野において分析的に考察し取り組むことができるように
 - (1) 低・中学年次にプロジェクトベースの科目を設け、これをグループ学習により展開する。
 - (2) 中・高学年次に応用的専門科目を設け、講義や演習・実習を主とした学修方法により展開する。
 - (3) 高学年次に、課題解決能力を育成するための科目群を編成する。
3. 人間・文化・社会を理解し、倫理観・責任感を持ち、自分の意見を論理的に表現できるとともに他者の意見を的確に理解し、周囲の人々と尊重しあいながらコミュニケーションを取ることができるように
 - (1) 低・中学年次に現代社会や倫理などの科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
 - (2) 全学年を通して、他者と協働するために必要なコミュニケーションスキルを涵養するための科目群を設け、これをグループ学習により展開する。
 - (3) 高学年次に文学や哲学などの人文・社会系科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
4. 生涯にわたって新たな知識・技術を自ら学ぶ自発的学習ができ、知識・技術を新たな社会へつなぐための創造的活動ができるように
 - (1) 低・中学年次にプロジェクトベースの科目を設け、これをグループ学習により展開する。

- (2) 高学年次に環境科学やライフサイエンスなどの複合領域科目を設け、講義や演習を主とした学修方法により展開する。
- (3) 専門分野における課題発見・解決力、自発的な学習・研究能力、プレゼンテーション能力を育成するため、4年次にプレラボ、5年次に卒業研究を設け、学生と指導教員の双方向性を重視した総合的な学修を展開する。

令和9年度 小山工業高等専門学校編入学者募集要項

1. 編入学を実施する学科・募集人員及び編入学年次

学 科	募集人員	編 入 学 年 次
機 械 工 学 科	各 学 科 若 干 名	第 4 学 年
電 気 電 子 創 造 工 学 科		
物 質 工 学 科		
建 築 学 科		

2. 出 願 資 格

次のいずれかの条件を満たす者で、合格した場合、入学を確約できる者

(1) 高等学校（工業系以外を含む）又は中等教育学校を卒業した者（令和9年3月卒業見込みの者を含む）

(2) 次のア～オのいずれかに該当する者で、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和9年3月31日までにこれに該当する見込みの者で、編入学時において18歳に達している者

ア 外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの

イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設※の当該課程を修了した者

ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

エ 文部科学大臣の指定した者

オ 高等学校卒業程度認定試験規則による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（旧規程による大学入学資格検定に合格した者を含む。）

※ 在外教育施設とは、海外に在留する日本人の子どものために、学校教育法（昭和22年法律第26号）に規定する学校における教育に準じた教育を実施することを主たる目的として海外に設置された教育施設です。

3. 志 望 学 科

志望学科は、出身校の教育内容にかかわらず、全ての学科から選んで志願できます。

4. 出 願 期 間

受 付 期 間	受 付 時 間	受 付 場 所
令和8年10月27日(火)から 令和8年10月29日(木)まで	9:00 から 17:00 まで	小山工業高等専門学校 学生課教務係

郵送の場合は、10月29日(木)必着とし、受付期間を過ぎた場合は、出願書類は受理できません。

5. 出 願 手 続

志願者は、次の書類を提出してください。

なお、郵送の場合は、必ず「書留郵便」とし、封筒の表面に「編入学願書在中」と朱書きしてください。

出 願 に 必 要 な 書 類 等		摘 要
1	編 入 学 願 書 編入学志願者写真票 受 験 票	本校所定の用紙を使用してください。(消せるボールペンは不可) ※編入学願書、編入学志願者写真票及び受験票は、切り離さないでください。
2	調 査 書	在籍(出身)学校所定の用紙に学校長が作成し、厳封したもの。
3	卒 業 見 込 証 明 書 又 は 卒 業 証 明 書	在籍(出身)学校所定の用紙を使用し、学校長が証明したもの。
4	入 学 検 定 料	16,500円 本校所定の振込用紙を用い、最寄りの銀行等の受付窓口で振り込み、ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。 「振込受付証明書」を受け取る際、銀行等の押印を確認し、写真票の裏面に貼付してください。銀行等の押印のないものや写真票に「振込受付証明書」を貼付していないものは、出願書類を受理できません。
5	返 信 用 封 筒 (郵送の場合のみ)	封筒(長3形:120×235mm)の表に本人の郵便番号、住所、氏名を記入し、切手(定型郵便料金(50g以内)+簡易書留料金)を貼付してください。(願書を直接持参する場合は、必要ありません。)

出願書類等郵送先

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜 771
小山工業高等専門学校 学生課教務係

6. 選 抜 方 法

選抜は、学力検査（口頭試問含む）、調査書及び面接の総合判定により行います。

(1) 学力検査の検査科目及び出題範囲

検査科目は英語、数学、専門科目の3科目とし、これらの科目の出題範囲は表に示すとおりです。英語と数学は共通科目であり、専門科目は表のように志望学科によって異なります。

共通科目

検 査 科 目	出 題 範 囲
英 語 (記述式検査)	英語コミュニケーションⅠ、英語コミュニケーションⅡ (文法、語法等の基本的理解)
数 学 (口頭試問)	数学Ⅰ、数学Ⅱ、数学Ⅲ、数学A、数学B

専門科目（口頭試問）

志 望 学 科	検 査 科 目	出 題 範 囲
機 械 工 学 科	機 械 設 計	全 範 囲
電 気 電 子 創 造 工 学 科	電 気 回 路 工 業 情 報 数 理	全 範 囲 全 範 囲
物 質 工 学 科	化 学 基 礎 ・ 化 学	全 範 囲
建 築 学 科	建 築 計 画 建 築 構 造 建 築 構 造 設 計	全 範 囲 全 範 囲 構造物に働く力、静定構造物、部材に関する力学

(2) 学力検査及び面接の日時

令和8年11月14日（土）

9：20～10：10	10：20～
英 語	口 頭 試 問 及 び 面 接 (1人当たり30分程度)

※集合時間 8:50 までに検査室に入室してください。

(3) 検査場所：小山工業高等専門学校

7. 合格発表

令和8年11月20日(金) 13:00

合格発表は、本校ホームページに合格者受験番号を掲載します。

URL <https://www.oyama-ct.ac.jp/>

また、その合否を出身学校長に通知し、本人には合格者のみ文書で通知します。出願資格(2)に該当する者には、本人に合否を通知します。

(※電話による合否のお問合せには応じられませんので、ご了承ください。)

8. 入学意思確認書の提出

合格通知を受けた者は、令和8年12月11日(金)までに(必着)「入学意思確認書」を提出してください。期限までに入学意思確認書を提出しない者は、本校に入学の意思がないものとして取り扱います。

入学意思確認書の様式は、検査結果通知書に同封します。

9. 入学時の諸経費

- (1) 入 学 料 84,600 円 (改定される場合があります)
 - (2) 授 業 料 (年額) 234,600 円 (改定される場合があります)
在学中に授業料改定が行われた場合には、改定時から新授業料が適用されます。
 - (3) そ の 他
 - ・教科書、教材費 約 50,000 円～ 60,000 円
 - ・学生会費 8,000 円 (入会金 1,000 円を含む。改定される場合があります)
 - ・後援会費 40,200 円 (入会金 15,000 円を含む)
- ※ 編入生全員にノートパソコンを個人で準備していただきます。
必要な仕様等を入学手続時までにお知らせします。その仕様を満たしたノートパソコンをお持ちの方は、購入不要です。

10. 注 意 事 項

- (1) 願書受付後の志望学科の変更は認めません。
- (2) 願書受付後の記載事項の変更、書類及び入学検定料の返還はいかなる理由があっても認めません。
- (3) 出願書類に虚偽の記載があったときは、入学後においても入学を取り消すことがあります。
- (4) 郵送で手続きを完了した者については、受験票を送付します。なお、受験票が11月6日(金)までに到着しない場合は、本校学生課教務係（募集要項裏表紙に記載）に申し出てください。
- (5) 募集要項等の請求及び入学志願に関する質問は、本校学生課教務係に問い合わせてください。

11. 個人情報 の 取 扱 い に つ い て

入学志願者から提出された入学願書や調査書等に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通して取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、必要に応じて次の目的にも利用します。

- (1) 入学後の教育及び指導
- (2) 授業料等諸納金の本校会計事務システムへの登録
- (3) 入学料、授業料の免除申請の審査
- (4) 奨学金申請の審査
- (5) 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度、入学者選抜制度の改善のための調査・研究

小山高専のプライバシーポリシーについては、本校ホームページをご確認ください。

<https://www.oyama-ct.ac.jp/information/id/>

(小山高専ホームページ 個人情報の取り扱い)



(小山高専ホームページ)

12. 入学者選抜に関する合理的配慮の提供に関して

入学者選抜において障害等を理由とした合理的配慮の提供を希望する者は、入学願書提出期限の一か月前を目安に学生課教務係までご相談ください。

なお、合理的配慮の提供には準備に時間がかかることもあるため、願書受付期間を過ぎてからの相談及び申請では、希望する合理的配慮を受けられなくなる可能性がありますので注意してください。

詳しくは、学校ホームページに記載がありますので、ご確認ください。

https://www.oyama-ct.ac.jp/exam/admission_information/transfer_study_information/



(小山高専ホームページ)

令和9年度 編入学願書

割印

受験番号	※
------	---

志望学科					
ふりがな	平成	年	月	日生
氏名	男	入学した場 合入寮希望の有無	有・無		
ふりがな	女				
現住所				
〒	□□□□	電話	()		
出身学校	令和	年	月	学校	卒業見込 卒業
所在地				
ふりがな				
氏名	志願者との 続柄		電話 ()		
現住所 (志願者との 異なる場合 のみ記入)				
〒	□□□□	電話	()		

- (注) 1. 楷書で記入してください。
2. ※印欄は記入しないでください。

令和9年度 編入学志願者写真票					
志望学科	小山工業高等専門学校				
受験番号	※				
出身学校	卒業見込 卒業		学校		
ふりがな				
志願者氏名				
生年月日	平成	年	月	日生
(写真をはる欄) のりをつけて写真(4cm ×3cm)を貼付してくだ さい。 写真は正面脱帽上半身で 出願3か月以内に撮影した もの。 写真の裏面には必ず氏名、 志望学科を記入してく ださい。					
(注) ※印欄は記入しないでください。					

きりはなさないでください

令和9年度 受験票					
志望学科	小山工業高等専門学校				
受験番号	※				
出身学校	卒業見込 卒業		学校		
ふりがな				
氏名				
(写真をはる欄) 写真は写真票と同一のも のを使用し、のりで貼り 付けてください。					
(注) ※印欄は記入しないでください。					

きりはなさないでください

(裏面の受験心得を参照してください)

受験心得

1. 学力検査の際には本票を机の上に提示しておいてください。
2. 答案の提出は必ず監督者の指示に従ってください。
3. 受験中の退室は認めません。
4. 学力検査に必要な用具等（受験票、筆記用具、時計）以外のものは一切検査室内に持ち込みを禁止します。ただし、時計は、時計機能だけのものに限りません。
5. 集合の時刻（8時50分）に遅れた者は受験を認めないこともあります。

学力検査・面接時間割

月 日	科目等	時 間
	英 語	9:20～10:10
11月14日(出)	口頭試験 及び面接	10:20～

注意事項

1. 本票は学力検査の際、必ず携帯してください。携帯しない者は受験できません。
2. 本票を忘れたとき又は紛失したときは直ちに学力検査本部に届け出て指示を受けてください。

入学検定料

『振込受付証明書』

貼付欄

入学検定料は、銀行の受付窓口で振込みをしてください。
なお、ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。

また、銀行の押印がない場合は受理できませんので注意してください。

※ 各票の太線の中をご記入ください。
ご依頼人の氏名、住所、電話は志願者本人の名前（フリガナ）、住所、電話番号を記入してください。
振込受付証明書、振込金受取書に金融機関の受領印があることを必ず確認してください。
この振込依頼書で銀行、信用金庫、農協などの金融機関窓口で納付できます。
（ＡＴＭ機は使用しないでください。振込受付証明書の受領印確認ができません。）

※ ただし、ゆうちょ銀行から納付する場合は、口座保有者のみ可能です。
利用の際は、「通帳と届け印」又は「キャッシュカード」及び、この振込依頼書をゆうちょ銀行へ持参の上、窓口でご相談ください。

振込受付証明書を
必ず写真裏面に
貼付してください。

振込受付証明書

科目		検定料	
令和	年月日	千	円
金額	¥ 1 6 5 0 0		
取引銀行	科目	口座番号	
栃木銀行小山支店	普通	6916022	
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
ご依頼人	様		
氏名			
住所			

上記のとおり振込金として受付けました。
(取扱店) _____ 銀行 _____ 店

受領印

(高専提出用)

(取扱店→依頼人)

振込金受取書

科目		検定料	
令和	年月日	千	円
金額	¥ 1 6 5 0 0		
取引銀行	科目	口座番号	
栃木銀行小山支店	普通	6916022	
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
ご依頼人	様		

上記のとおり振込金として受取りました。

(取扱店) _____ 銀行 _____ 店

受領印

(本人保管)

(取扱店→依頼人)

振込依頼書

科目		検定料	
ご依頼日	令和	年月日	電信扱
取引銀行	科目	口座番号	手数料
栃木銀行小山支店	普通	6916022	金額
受取人	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
(フリガナ)	コウセンキコウホンプ		
(おなまえ)	独立行政法人 国立高等専門学校機構本部		
(おところ)	〒193-0834 (電話) 042-662-3166 東京都八王子市東浅川町701-2		
(フリガナ)			
氏名			
住所	〒 (電話)		

各票の太線の中をご記入ください。
ご依頼人は切り取らないでください。

(収納済印又は振替印)

見本

(取扱店保管)

入学検定料の納入方法について

1. 納入方法

- ア 別添の振込用紙を最寄りの金融機関に持参して納入してください。
銀行、信用金庫、農協、ゆうちょ銀行など全国の金融機関窓口で納入できます。
- イ 振込受付証明書と振込金受取書は、金融機関の受領印があることを確認の上、受け取ってください。
- ウ 写真票裏面に「振込受付証明書」を貼付して出願してください。
- エ 振込金受取書は、本人の控えとして、受験票が手元に届くまで大切に保管してください。

※振込時の振込手数料は、振込人負担となります。

※出願書類の受理後は、いかなる理由があっても振込済の検定料は返還できません。

※納付された検定料の返還請求ができるのは、次の場合になります。

- ・検定料を納付したが出願しなかった場合
- ・検定料を重複で納付した場合

2. 納入期間

令和8年10月5日(月)～10月29日(木)

3. 注意事項

金融機関の窓口にて納入してください。(ATMは使用しないでください。)

問合せ先

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜 771
小山工業高等専門学校 総務課 財務係
電話 0285-20-2131

出願書類チェックシート

次の項目により出願書類の確認をしてください。

◎編入学願書

必要事項は全て記載されていますか。

◎調査書

在籍（出身）学校所定の用紙により学校長が作成し、厳封されたものですか。

◎卒業見込証明書・卒業証明書

令和9年3月卒業見込みの方は、卒業見込証明書がありますか。

出願前に卒業した方は、卒業証明書がありますか。

◎入学検定料

写真票裏面に金融機関の振込受付証明書が貼付されていますか。

◎返信用封筒

出願書類を郵送する方は、本人の郵便番号、住所、氏名を記載し、切手（簡易書留郵便料を含む）を貼った受験票返送用の封筒がありますか。

※出願書類を直接持参する場合は、必要ありません。

学校所在地略図



- JR小山駅（東口）から約5km、JR小田林駅から約4km
- バス利用の場合は、JR小山駅改札より東口へ、
 小山市コミュニティバス（城東中久喜線又は高岳線）
 「小山駅東口」乗車、「高専正門」下車徒歩1分、又は「小山高専入口」下車徒歩5分。
 （バス所要時間 約20分）

— 入試に関する問合せ先 —

独立行政法人 国立高等専門学校機構

小山工業高等専門学校 学生課教務係

〒323-0806 栃木県小山市大字中久喜771

電話番号 **(0285)20-2141**

E-Mail nyushi@oyama-ct.ac.jp

U R L <https://www.oyama-ct.ac.jp/>